

ボランティアだより

ほのボラ

2019年12月発行 No.75

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



令和元年度 京丹波町災害ボランティアセンター町民講座 11/16(土)

子育てから介護まで今日から絶対に役に立つアウトドア流×防災講座

今年度の防災講座はアウトドア防災ガイドの【あんどうりす】さんを講師に迎え、アウトドアの視点で日常の備えを意識するコツや古武術で介助者が負担をかけずに相手を起こす方法など具体的に教えていただきました。

講師【あんどうりす】



☆アンケートの声☆

- ・非常に良かったです。グッズを揃えるのも大切であるが、なぜそのグッズが必要かきちんと仕組み、科学を考えることが大切だとわかりました。
- ・とてもためになりました。特に最後の古武術のワザは目からウロコでした。介護の仕事をしているので、普段から使いたいと思いました。
- ・楽しく聞かせていただきました。常識が非常識な事が多く、勉強になりました。

手芸ボランティア モチーフ



11月11日、特別養護老人ホーム長老苑に手編みの座布団、ひざ掛けを寄付されました。利用者は一人ずつベンチに早速敷いて、「あったかい。最近寒くなってきたので丁度いい。嬉しい。」と喜んでおられました。

☆活動紹介☆ 結成【平成6年】住民の方から提供して頂いた毛糸を使って手袋・クッション等の作品を作っています。施設に寄付したり、バザーにも出品しています。



ボランティアインタビュー ④⑦

傾聴ボランティアうさぎの耳(丹波)

一人暮らし高齢者宅を訪問し、心に寄り添いながら話を聞く活動です。



しみず こうせい
清水 弘星 さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「50才で出家して【世の役に立てる事を始めたい】と思った時、師匠から【一人のお世話が大量のお世話に繋がります】とアドバイスして頂き、傾聴ボランティア活動を始めて丸15年になります。京丹波町に移り住んで11年を過ぎましたが、地元との関わりが全く無かったのでうさぎの耳に参加させていただきました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「早くに他界した母親と同世代の方々との出会いを通して、母親の幼少期や青春時代の生活や想いを感じられる事も良かった事の一つです。」



Q3 あなたにとってボランティアとは？

「【他人の苦しみ我が苦しみ、他人の喜び我が喜び】を実践し、出会いを楽しむこと。」



たかみつ あさこ
高光 朝子 さん

ボランティアインタビュー ④⑧

とみ かい
十三の会 共同作業所ともどもでの作業支援。女性会員は隔週木曜日にネギ掃除。男性会員は毎週火曜日にアルミ缶回収。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「民生委員退任時、何か出来る事はないか？と相談していた中でこの話を頂きました。十三の会の発足時から活動に参加しています。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「活動に行って利用者が私に向かってありがとうの合掌をしてくれた。そんな姿を見せてくれるとは思わなかった。活動を続けて良かったと有難く感じます。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「年齢は関係ない。自分自身の為にする。出来る事を出来る時にさせて頂ける事が良いかなと思います。活動出来ることに感謝しています。」

【ご紹介しています団体は一緒に活動してもらえ方を随時募集しています。詳しくは地域福祉課まで】

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課
丹波支所 ☎82-0126 (榎川・友金) 和知支所 ☎84-1833 (湊)